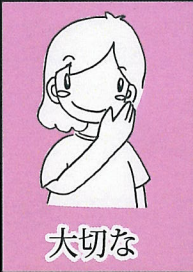
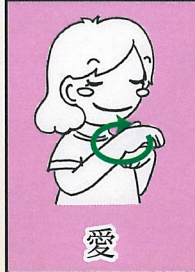


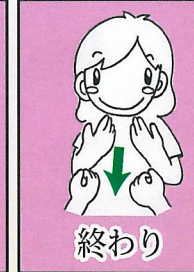







食後のことば

[代表者]



原文 ^{とうと} 尊いおめぐみをおいしくいただき、

ますます御恩報謝につとめます。
ご おん ほうしゃ

	(V)			(V)						
										
表現	大切な	愛	おいしい	食べる	終わり	もっと	仏恩(ぶつとん) ※解説参照	感謝	努力する	
動作	湾曲させた右手掌で左頬を軽くたたく(まわす)	膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を水平にまわす	右手掌で顎を左から右へ撫でる	掌を上に向けた左手から右手2指を口へ運ぶ	指を上に向けて開いた両手を同時に下しながら5指を閉じる	左手2指の親指の下につけた右手2指を上げ、左手人差指にのせる	阿弥陀仏の印	手の甲を外側に向け、上の方で膨らませて伏せた左手甲の上方で湾曲させた右手を回す	左手甲に小指側を直角にのせた右手を上げながら頭を下げる	左手掌にあてた右手人差指の指先をねじりながら前へ押し出す

[全員で]

原文 おかげで、ごちそうさまでした。

		
表現	助けられる	合掌

動作 立てた左手親指の甲側を右手掌で手前へ2回たたく

<食前のごことば解説>

わたしたちは、食べ物をいただくことで、毎日を過ごしています。この食事には多くのいのちをいただいています。またこの食事がわたしの口に届くまでには、多くの方のご苦労もありました。阿弥陀さまは、わたしたちが、多くのいのちと、みなさまのおかげによって、初めて生きることができているのだと、明らかにしてくださいました。このご恩を思い、お食事を大切にいただきましょう。

<食後のごことば解説>

お食事をいただいたわたしたちは、尊いおめぐみをいただきました。多くのいのちと食事を用意してくださった方々のご苦労を思い、そのおかげでいのちをいただいています。いまここに、いのちあるわたしを、必ず救うと願い、支えてくださっているのが阿弥陀さまです。このご恩を思い、阿弥陀さまの願いに応えようと、精一杯に生きていきましょう。

※(V) は手話文の区切りです。うなずきや間を入れます。

<裏面に食前のごことば>